

銚田市新型コロナウイルスワクチン接種実施計画

1 目的

この計画は、新型コロナウイルスワクチン接種を行うにあたり、接種対象者の範囲、接種体制等を明確にし、円滑かつ迅速な接種を行うことにより、市民の生命及び健康を守ることを目的とする。

2 概要

- (1) 対象者 市内に居住する 16 歳以上の者
- (2) 期間 令和 3 年 2 月 17 日 から 令和 4 年 2 月 28 日 まで
- (3) 実施主体 厚生労働大臣の指示のもと、都道府県の協力により、市町村が実施主体となり、予防接種を実施する
- (4) 接種費用 無料（全額公費負担）
- (5) 接種実施場所
 - 【原則】 住民票所在地の市町村で接種を受ける
 - 【例外】 やむを得ない事情がある方は、住所地以外の市町村で接種を受けることも可能
 - ・ 申請不要…入院中または高齢者施設などへ入所中の方、基礎疾患をもつ方が主治医の下で接種する場合
 - ・ 申請必要…出産のために里帰りしている妊産婦、遠隔地へ下宿している学生、単身赴任者 など

3 新型コロナウイルスワクチンの種類

新型コロナウイルスについて、現在 3 種類のワクチンの承認が見込まれている。

各ワクチンは 2 回接種で、1 回目と 2 回目は同じ製薬会社のワクチンを接種する必要がある。

※当面は、承認されたファイザー社のワクチンの接種を予定している。

製薬会社	ワクチンの種類	接種回数	接種間隔
ファイザー社 (R3. 2. 14 承認)	mRNA ワクチン	2 回	21 日間隔
アストラゼネカ社	ウイルスベクターワクチン	2 回	28 日間隔
武田/モデルナ社	mRNA ワクチン	2 回	28 日間隔

4 接種対象者と接種予定者数

【接種順位】

順位	対象	実施区分
1	医療従事者	県
2	高齢者（令和 3 年度中に 65 歳以上になる者）	市
3	基礎疾患を有する者	市
3	高齢者施設等の従事者	市
3	60 歳～64 歳の者 ※ワクチンの供給量によっては、基礎疾患を有する者と同じ時期に接種を行う	市
4	上記以外の者	市

出展：新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き（厚生労働省）

(1) 銚田市総人口 48,031 人 (令和3年4月1日現在)

(2) 接種予定者 (令和3年度中に16歳、65歳を迎える者を含む)

	区分	対象者	補足
①	医療従事者	1,440	(推計:人口の3%)
②	高齢者	16,899	(65歳以上)
③	基礎疾患を有する者	3,938	(総人口の8.2%)
④	高齢者施設等従事者	768	(総人口の1.6%)
⑤	上記以外の者	20,303	(16歳以上、65歳未満)
	計	43,348	
	16歳未満	4,683	
	計	48,031	

※接種率の想定 $16\text{歳以上人口の}70\% = (48,031\text{人} - 4,683\text{人}) \times 70\% = 30,343\text{人}$

①医療従事者…新型コロナウイルス感染症患者に直接医療を提供する施設の医療従事者等

②高齢者…令和3年度中に65歳に達する方

③基礎疾患を有する者…1. 令和3年度中に65歳に達しない者であって、以下の病気や状態の方で、
通院/入院している方

- ・慢性の呼吸器の病気
- ・慢性の心臓病 (高血圧を含む)
- ・慢性の腎臓病
- ・慢性の肝臓病 (肝硬変等)
- ・インスリンや飲み薬で治療中の糖尿病又は他の病気を併発している糖尿病
- ・血液の病気 (ただし、鉄欠乏性貧血を除く。)
- ・免疫の機能が低下する病気 (治療や緩和ケアを受けている悪性腫瘍を含む。)
- ・ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている
- ・免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態 (呼吸障害等)
- ・染色体異常
- ・重症心身障害 (重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態)
- ・睡眠時無呼吸症候群
- ・重い精神疾患 (精神疾患の治療のため入院している、精神障害者保健福祉手帳を所持している、又は自立支援医療 (精神通院) で「重度かつ継続」に該当する場合) や知的障害 (療育手帳を所持している場合)

2. 基準 (BMI 30以上) を満たす肥満の方

④高齢者施設等従事者…高齢者等が入所・居住する社会福祉施設等において、利用者に直接接する職員

⑤上記以外の者…ワクチンの供給量等を踏まえ、順次接種

5 接種スケジュール(現状におけるおおよその見込み)

茨城県のクラスター対策の方針に基づき、高齢者施設入所者と従事者（特養、老健、グループホームなど入所施設等）の接種を優先する。

区分	4月	5月	6月	7月	8月以降
医療従事者		→			
高齢者（令和3年度中に65歳以上になる者）			→	→	→
高齢者施設等の従事者			→	→	→
基礎疾患を有する者					→
上記以外の者（16歳以上） ※60歳～64歳の者…ワクチンの供給量によっては、基礎疾患を有する者と同じ時期に接種を行う					→

6 接種までの流れ

- ① 接種券発送

↓

 国が定めた接種順位に基づき、優先順位の高い高齢者から段階的に発送する。「接種券」と合わせて「予診票」「新型コロナウイルスワクチン接種のお知らせ」も同封予定。
- ② 予約受付

↓

 接種券が届いたら1回目予約開始。3週間後の予定を確認し、1回目、2回目ともに、同じ曜日に接種できる日を選ぶ。（電話とWeb）
- ③ 1回目ワクチン接種

↓

 予約した日時・医療機関にてワクチンを接種。2回目ワクチン接種日時の確認。
- ④ 2回目ワクチン接種

↓

 ワクチン接種完了。

7 接種体制

市内15医療機関で接種実施（個別接種）

【医療機関一覧】

No.	名称	No.	名称
1	上杉医院	9	たきもとクリニック
2	鬼沢ファミリークリニック	10	巴診療所
3	神谷医院	11	ハタミクリニック
4	きしろ整形外科クリニック	12	札クリニック
5	白石医院	13	舟木クリニック
6	たいようクリニック	14	銚田病院
7	高須病院	15	縦山診療所
8	高橋医院		

※接種状況に応じて集団接種も行う。

8 ファイザー製ワクチンの管理及び配送

- (1) 予約管理や在庫管理は市が一括して行い、必要数量を医療機関へ週2回配送する。
- (2) ワクチン接種は予約制とし、1バイアルが5回分のため、1日の予約数は1医療機関において5の倍数とする。(1バイアルが6回分の注射器が供給された場合は、1日の予約数についても6の倍数とする。)
- (3) 医療機関では、市から配送されたワクチンは冷蔵保存し、5日以内(冷凍保存できる場合は14日以内)に接種を完了する。
- (4) 当日キャンセルなどで、ワクチンをなるべく廃棄しないよう柔軟に対応する。
- (5) 銚田市銚田保健センターにディープフリーザーを設置し、基本型接種施設とし、国からワクチンの供給を受け、サテライト型接種施設と位置付けられている医療機関へ、週2回ワクチンを配送する。4～6月設置分のディープフリーザーは、多数の接種が見込まれる医療機関へ設置し、基本型接種施設とし、国から直接ワクチンの供給を受ける。

9 高齢者施設入所者・従事者の接種

- (1) 高齢者施設等入所者
 - ①特別養護老人ホーム(5施設)、介護老人保健施設(3施設)等
 - ②当該施設の嘱託医・施設医等がワクチン接種を行う
- (1) 高齢者施設従事者
高齢者施設におけるクラスター発生防止のため、施設従事者への優先接種を行う
- (3) ファイザー製ワクチンを使用した高齢者接種スパン
 - ①65歳以上高齢者約17,000人、接種率70%、2回接種で2.4万回の接種が必要
 - ②週当たり2,300回接種とすると、12週間で27,600回の接種となり、接種率が80%を上回っても、医療機関接種のみで対応可能
 - ③高齢者接種の後半では、次順位の接種も並行して行う(※1医療機関あたり、1日平均30回接種する計算)

【接種スパン】

A1	B1	C1	A2	B2	C3	D1	E1	F1	D2	E2	F3
1回目	1回目	1回目	2回目	2回目	2回目	1回目	1回目	1回目	2回目	2回目	2回目
1週目	2週目	3週目	4週目	5週目	6週目	7週目	8週目	9週目	10週目	11週目	12週目

10 安全性の確保、副反応への対応、健康被害救済

- (1) 接種にあたっては、予診票を提出することとする
- (2) 接種後、15分～30分の経過観察時間を設ける
- (3) 帰宅後の体調変化においても県の相談センターなどと連携し対応する
- (4) ワクチン接種後、副反応による健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく救済制度により対応する

12 周知・広報と相談について

(1) 周知・広報

広報ほこた、銚田市公式サイト、銚田市公式 SNS（メール配信サービス、Facebook 等）のほか、必要に応じて広報臨号や新聞折り込みを活用する

(2) 相談

コールセンターを設置し、最大 6 人体制で相談対応する

13 最後に

新型コロナウイルス感染症について新たに得られた知見や把握できた実態等を踏まえ、本市でも円滑な接種を実施していけるよう、当該感染症のまん延予防のための体制について不断の見直しが必要となる。

このような観点から、本計画についても、今後の検討結果に加えて、他の地方公共団体の取組状況等を踏まえ、随時、改定を進めていくものとする。